

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
社会理論と社会システム Social theory and social system		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(社会福祉士国家試験受験資格取得 必修 社会福祉主事任用資格に係る科目)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
井上美和	非常勤講師室	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
人間科学の一つとして、社会学の基礎的知識を修得する。そのために基礎的な社会学説を取り上げ、歴史的な社会学の理解を深める。その上で現代社会や社会問題の特質、人と社会の関係性、生活の特徴等について学ぶ。				
授業の目標				
①社会理論による現代社会の捉え方を理解した上で、社会問題について説明できるようにする。 ②人と社会の関係について理解し、説明できるようにする。 ③家族、世帯、ライフステージ、ライフサイクル等、人の「生活」を理解し、説明できるようにする。				
授業の方法				
テキストを使用しながら、毎時間資料を配布し、講義形式で単元のポイントを明確にする。また社会学を身近に学ぶために、視聴覚教材を活用し考察を深める。				
学習の成果（学習成果）				
当該授業を履修すると ①人、社会、集団とは何か、社会理論をもとに自分なりに考察することができる。 ②他者との関係性を振り返り、社会の成り立ちについて理解し、説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業のねらいと進め方、成績評価について等の説明）			
第2回目	意味と相互主観性 視聴覚教材使用「人間とは何だ!？」			
第3回目	アイデンティティ			
第4回目	スティグマ 視聴覚教材使用「育ての流儀」			
第5回目	正常と異常 視聴覚教材使用「豊かさの代償 4大公害病」			
第6回目	ジェンダー			

第7回目	規範と制度	
第8回目	コミュニケーションの自己準拠	
第9回目	社会の中の権力①	
第10回目	社会の中の権力② 視聴覚教材使用「未解決事件ファイル」	
第11回目	不平等と正義①	
第12回目	不平等と正義② 視聴覚教材使用「女性たちの貧困」	
第13回目	共同体	
第14回目	試験	
第15回目	現代の社会のあり方について考える	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	①テキスト、配布資料を毎時間持参しているか、②ディスカッションで積極的に発言しているか、③集中してノートをとっているか、を評価基準とする。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	70%	授業内容を理解しているか、また当該科目の目標をどの程度達成できているかによって評価する。試験内容は、選択穴埋問題と論述問題とする。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
友枝敏雄・竹沢尚一郎・正村俊之・坂本佳鶴恵 『社会学のエッセンス[新版]』 有斐閣 2011年		
履修上の留意点・ルール		
日頃から社会で起こっている出来事に興味、関心をもって、積極的な態度で授業に臨んで下さい。教科書は必ず毎時間持参して下さい。		